

新規・継続等	新規	分野	砂防施設整備		事業番号	8	事業名	砂防(通常砂防)			
市町村名	松川村		ふりがな 箇所名	きたわ ださわ 北和田沢		おおわだ 大和田		事業年度 (完了年度は見込み)	年度～ 年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	砂防堰堤工 1基 透過型堰堤H=7.0m L=101.0m 付け替え林道工L=320m						H22年度事業進捗率	0.0%		
	H23年度以降降実施内容	同上						本工事費等ベース	0.0%		
	H23年度実施内容	-						用地補償費ベース	0.0%		
	年度	全体事業費		H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降降				
財源内訳	事業費計(千円)	350,000		0	0	0	350,000				
	国庫支出金	175,000		0	0	0	175,000				
	その他										
	県債	157,500		0	0	0	157,500				
	一般財源	17,500		0	0	0	17,500				
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			部 ランク	課 評価点	部 ランク	課 評価点
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上			1～9戸	0戸	B	5	B	5
		保全対象公共施設	2箇所以上			1箇所	なし		6		6
		保全対象に弱者施設があるか	重要施設有り			一般施設有り	なし		0		0
		保全対象に避難所、避難経路があるか	あり			なし			1		1
		小計							12		12
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去20年に1回以上			災害履歴値	なし	B	5	B	5
		交通遮断による地域経済などへの影響	大			中	小		1		1
		防災計画上の位置づけ	あり			なし			5		5
		小計							11		11
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C1.5以上			B/C1.0以上1.5未満	B/C1.0未満	A	15	A	15
		早期発現度	5年未満			5年以上10年未満	10年以上		3		3
		流域の総合調整(関連事業の有無を含む)	検討あり			検討なし			0		0
		小計									18
	緊急性 (25)	地質・地形の状況	地質が脆弱かつ地すべり地形			地質が脆弱	その他	A	5	A	5
		植生の状況	無林地や倒木が多い			放置林	その他		4		4
		平均溪床勾配	10度以上			2度以上10度未満	2度未満		5		5
		土砂整備率	0%			0%より大50%未満	50%以上		5		5
		小計							19		19
	計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い			市町村要望有り	特に要望ない	C	3	C	3
事業情報の共有		関係者以外にも周知			関係者中心に周知	特に周知していない	0		0		
住民参加の状況		住民が直接参加			住民市町村意見を反映	住民意見反映していない	0		0		
小計									3		
費用対効果(B/C)	1.61		評価の合計			B	63	B	63		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	北和田沢は土石流危険渓流であり、平成11年7月の豪雨時に土石流が発生し林道へ土砂が流出した。土石流による土砂災害から下流域の人家3戸及び公共施設を保全するため、砂防事業による対策が望まれている。									
	地域からの要望経緯	大町市から土砂災害の未然防止施設整備の要望書が提出されている。									
	事業説明等の経緯	事業説明については未実施。									
	環境・景観への配慮項目	工事に伴う地形改変を極力少なくする計画。									
	他事業・プロジェクトとの関連	松川村では平成21年度に土砂災害警戒区域・浸水想定区域を包括したハザードマップを作成し、地域住民へ情報提供を行っている。									
	特記事項	特になし。									
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他						
部意見	当流域には、不安定な溪床堆積物と多くの倒木が存在しており、次期降雨による、土砂と流木の流出と保全対象への被害が懸念され、砂防施設による対策が必要であるが、当面は警戒避難体制のソフト対策を優先することとし、今後の地元との意見交換会を通じて計画熟度の向上に努める。				政策評価課 意見	計画熟度がやや低い。					